

単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領生活科の内容（6）「自然や物を使った遊び」をもとに構成した。

身近な材料から工夫しておもちゃをつくったり、みんなで楽しく遊べるように、遊びや約束を考えて、それを表現したりする活動を通して、活動や体験についての思考・表現の能力を高め、「友達と一緒に遊びたい。」という思いや、「1年生にも楽しんでもらいたい。」という願いが生まれ、主体的に学習活動に取り組んでいくことができる単元である。つくる、遊ぶなどの様々な活動の楽しさを味わうことや、そのための技能、能力を身に付けること、活動や体験したことを表現し、考えることができるようにすることを目指している。また、みんなで楽しく遊ぶこと、おもちゃを工夫してつくること、改良策を考えるときに思わぬ発見をすること、その発見が成功することなどの喜びを味わうとともに、直接体験を通して実感的な分かり方ができるようにすることを大切にし、その後の学習や生活への意欲と工夫を生み出し、実生活に役立てようとするをねらいとしている。

○ 児童観

学級の児童は、年度当初から1年生との交流を楽しみにしている。一学期の「1年生をむかえよう」の単元において、1年生に向けて学校案内をする活動を行った。その際、1年生に分かりやすい説明の仕方を考えたり、1年生に積極的に声をかけたりしながら学校探検に取り組むことができた。児童は、1年生の時に2年生から「おもちゃフェスティバル」に招待され、様々な手づくりおもちゃに触れ、楽しんで遊ぶ体験をしている。その後、自分達で動くおもちゃをつかって遊ぶ活動を楽しむことができたが、つくったおもちゃを改良し、よりよいものへとつくり直すという活動は行っていない。

また、「学びの変革」パイロット校事業における意識調査では、「授業では、勉強する問題について『なぜだろう』『やってみよう』と思っています。」の項目において、85%の児童が肯定的な解答をしているが、「授業では、自分の考えとその理由（わけ）をはっきりとさせて、相手にわかりやすく伝えるように発表を工夫しています。」の項目においては、肯定的な回答をした児童の割合が55%であった。これらの結果から、自分で課題解決に対する意欲をもつことができているが、相手意識をもって自分の考えを伝えることが苦手であるということがわかる。

○ 指導観

課題の設定では、1年生のときに「おもちゃフェスティバル」に招待されたことを、写真や実際のおもちゃを見せながら思い出させることで、自分達も「おもちゃフェスティバル」を開き、1年生を招待したいという思いをもたせる。課題の設定と情報の収集までの時間を空け、おもちゃづくりに関する本を読むことで、おもちゃづくりに対する意欲を更に高めていくことができるようにする。

情報の収集では、この時間までに読んでいたおもちゃづくりの本を参考にしながら、実際に自分がつくりたい動くおもちゃの設計図を描かせる。その際、どのような材料が必要か、どのような工夫を取り入れるかなど想像力を働かせながら考えるように声かけを行い、これからの学習へつながるように支援をしていきたい。

整理・分析では、比べたり、試したり、友達と意見を交流したりする活動を通して、おもちゃの機能が高まるような改良策を考えさせたい。そのために、自分がつくったおもちゃで遊んだり、友達がつくったおもちゃと競争させたりして、1年生に楽しく遊んでもらうために、「もっと〇〇したい。」と感じさせることで、考えるための意欲を高めていきたい。また、すでに完成していると思っている児童には、「もっと高く跳ばせるかな。」などの声かけをすることで、改良策を考えていけるように促していきたい。

振り返りでは、つくったおもちゃを使って開く「おもちゃフェスティバル」を通して、自分の成長や友達よさに気付かせたい。また、気付いたことが今後の成長にどのように生かしていけるのかを

考えさせたい。

単元の目標

- 身近な材料を使って、工夫して動くおもちゃをつくることに興味をもち、遊びを工夫して、みんなで楽しく遊ぼうとしている。 **【生活への関心・意欲・態度】**
- 身近にある材料を使って、動くおもちゃを決め、工夫して動くおもちゃをつくとともに、みんなで楽しく遊べるように、遊びや約束を考え、表現することができる。 **【活動や体験についての思考・表現】**
- おもちゃや遊びを工夫する面白さや、おもちゃの動きの面白さや不思議さ、工夫してみんなで遊ぶことの楽しさに気付くことができる。 **【身近な環境や自分についての気付き】**

単元の評価規準

生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
身近な物を利用してつくった動くおもちゃやその遊びに関心をもち、みんなで楽しく遊ぼうとしている。	身近な物を利用して、動くおもちゃを考えたり、その遊びに使う物を自分なりに工夫したりして、「おもちゃフェスティバル」で使う物をつくって遊んでいる。	動くおもちゃの動きの面白さや不思議さ、その遊びに使う物をつくる楽しさに気付いている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・身近な物を利用してつくった動くおもちゃやその遊びに関心をもち、積極的にみんなで楽しく遊ぼうとしている。	・身近な物を利用してつくった動くおもちゃやその遊びに関心をもち、みんなで楽しく遊ぼうとしている。
【思考力】	・身近な物を利用して動くおもちゃをよりよく動くように考えたり、その遊びに使う物を自分なりに工夫したりしてつくって遊んでいる。 ・遊び方や約束を考え、遊びをつくり出し、それを言葉や掲示物を使って、相手に分かりやすくなるように、工夫して説明している。	・身近な物を利用して動くおもちゃを考えたり、その遊びに使う物を自分なりに工夫したりして、つくって遊んでいる。 ・遊び方や約束を考え、遊びをつくり出し、それを言葉や掲示物で説明している。
【自己理解】	・動くおもちゃの動きの面白さや不思議さ、その遊びに使う物をつくる面白さ、自分の成長、みんなで遊ぶ楽しさに気付き、今後の生活に生かそうとしている。	・動くおもちゃの動きの面白さや不思議さ、その遊びに使う物をつくる面白さ、自分の成長、みんなで遊ぶ楽しさに気付いている。

指導と評価の計画

全 12 時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定①（１） ○学習の見通しをもつ。 ・身近なものを使っておもちゃをつくり、約束やルールを考え、「おもちゃフェスティバル」を開くという学習の見通しをもつ。 ・昨年招待された「おもちゃフェスティバル」の様子を、昨年の写真などを見ながら思い出し、おもちゃづくりに対する意欲を高める。 ・動くおもちゃづくりに関心を持ち、自分のつくりたいおもちゃを決める。	○			・身近な物を利用した遊びや動くおもちゃづくりに関心を持ち、友達と遊ぼうとしている。	行動観察 発言
		朝読書など ○おもちゃのつくり方の本を読み、おもちゃづくりに対する意欲を高める。 ○おもちゃづくりに必要な身近な材料を集める。					
二	2	情報の収集①（１） ○設計図を描く。 ・これまでに読んでいた動くおもちゃのつくり方の本を参考にしながら、自分がつくりたい動くおもちゃの設計図を描く。 ・必要な材料、つくり方の工夫などについて考える。		○		・なめらかな動きや上手な動きへの思いや願いを持ち、動くおもちゃをつくらうとしている。	設計図 行動観察
	3 4	まとめ・創造・表現① 課題の設定②（２） ○動くおもちゃをつくり、遊ぶ。（2時間） ・設計図をもとに、動くおもちゃをつくる。 ・つくったおもちゃで遊んだり、友達のつくったおもちゃと競争したりして、1年生に楽しく遊んでもらうために、「もっと○○したい。」と感じさせ、改良していくことに対する意欲を高める。		○		・友達と比べたり、試したりしながら動くおもちゃを工夫してつくっている。	発言 行動観察 おもちゃ
	5	整理・分析 情報の収集②（１） ○自分のおもちゃの機能が高まるように、改良策を考える。 ・友達の作ったおもちゃと比べたり、試したりして、改良策を自分で考えたり、友達と意見を交流したりしながら、機能が高まるように改良していく。 【本時】		○		・比べたり、試したりする活動を通して、自分で考えたり、友達と意見交流をしながら改良策を考えることができる。	発言 行動観察 ワークシート
	6	まとめ・創造・表現②（１） ○おもちゃを改良する。 ・出てきた改良策をもとに、おもちゃを改良する。		○		・改良策をもとに、おもちゃを改良している。	行動観察 おもちゃ
		国語科 ○『「おもちゃ教室」をひらこう』の学習で、おもちゃのつくり方や遊び方を聞く人が分かりやすいように順序良く工夫して説明する方法を学ぶ。					

三	7	まとめ・創造・表現③（５） ○「おもちゃフェスティバル」の計画を立てる。 ・みんなで楽しく遊ぶためのルールや遊び方、準備することなどについて話し合う。	○		・「おもちゃフェスティバル」でみんなが楽しく遊ぶためのルールや遊び方、準備することを話している。	発言 行動観察
	8 ・ 9	○「おもちゃフェスティバル」の準備をする。（２時間） ・遊び方の紹介やつくり方の説明のパンフレットなどをつくる。 ・遊びに使うものをつくったり、更に楽しくするための遊び方のルールを考えたりする。		○	・「おもちゃフェスティバル」で必要なものを、準備することができる。	発言 行動観察 ワークシート
	10 ・ 11 ・ 12	○「おもちゃフェスティバル」のリハーサルをする。 ・クラスを半分に分け、１年生役とお店屋さん役に分かれてリハーサルをする。 ・１年生が楽しく遊ぶことができるために、改善点を話し合う。		○	・「おもちゃフェスティバル」で１年生が楽しく遊ぶためのルールや遊び方、準備することを話している。	発言 行動観察
	13 ・ 14	○１年生を「おもちゃフェスティバル」に招待して遊ぶ。（２時間） ・１年生に遊び方やルールを教えながら、楽しく遊ぶ。	○		・１年生を「おもちゃフェスティバル」に招待し、遊び方やルールを教えながら、楽しく遊ぶことができる。	発言 行動観察
四	15	振り返り（１） 学びのモニタリング ○おもちゃフェスティバルを通して気付いたことを振り返る。 ・自分の成長や友達によさに気づき、今後の生活の中で、どのように生かせるか考える。		○	・おもちゃや遊びを工夫する面白さや、おもちゃの動きの面白さや不思議さ、工夫してみんなで遊ぶことの楽しさに気付くことができる。	発言 行動観察 ワークシート

本時の学習

(1) 本時の目標

- 自分のおもちゃを友達のおもちゃと比べたり、出たアイデアを試したりする活動を通して、自分で考えたり友達と意見交流しながら、改良策を考えることができる。

(2) 本時の評価規準

- 比べたり、試したりする活動を通して、自分で考えたり、友達と意見交流をしながら改良策を考えている。
【活動や体験についての思考・表現】

(3) 本時の学習展開（4時間目／全12時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 本時の学習課題を確認する。 めあて _____ おもちゃをよりよくするために作せん会ぎをひらこう。 本時のゴールの見通し	◇前時のおもちゃでの遊び後に出た願いを振り返り、改良策を考えることを確認する。	A：比べたり、試したりする活動を通して、自分で考えたり、友達と意見交流をしながら自分の改良策を考えているとともに、相手に分かりやすいアドバイスをしている。 B：比べたり、試したりする活動を通して、自分で考えたり、友達と意見交流をしながら改良策を考えている。
2 おもちゃをよりよくするための改良策を考える。 ○おもちゃをもっとよくするためには、どうしたらよいでしょう。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> □思考の場の工夫 評価する お互いのおもちゃで遊ぶ中で、より良いおもちゃになるように考える。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ロケットの持つところが小さいから、投げにくいよ。もっともちやすくしてみよう。 ・輪ゴムの本数を増やしたら、もっと高く飛ぶと思う。 3 出てきた改良策を比べたり、試したりする。 ○出てきた改良策の中で、一番良い改良策は、どれでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・輪ゴムの数を変えたら、今までより高く跳んだよ。 ・材料をやわらかくしたら、全然飛ばなくなったよ。 	◇「もっと○○したい。」という思いを確認して、活動に入ること、改良策を考える意欲を高める。 ◇個人で考える時間を設け、その後「一人のおもちゃがよくなっただけで、楽しいおもちゃフェスティバルになるだろうか。」と投げかけることで、グループで改良策を考える活動への必然性をもたせる。 ◇おもちゃの問題点、改良策をワークシートに書かせることで、自分達のおもちゃについて評価する視点をもたせる。 ◆材料の種類、数、大きさなどの考える視点を提示し、考える際の手立てとする。 ◆改良策が出ず、困っている児童は、全体で取り上げ、改良策を考える。 ◇試したり、比較したりする活動を通して、一番良いと思う改良策を選ぶ。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◆書き方のモデルを提示し、文章を書くことに苦手を感じている児童の手立てとする。</p>	<p>◎比べたり，試したりする活動を通して，自分で考えたり，友達と意見交流をしながら改良策を考えている。</p> <p>【活動や体験についての思考・表現】</p> <p>(行動観察，発言，設計図)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>ぼくは，もっと高くとばしたいと思って作せん会ぎをしました。</p> <p>今までは，わゴムの数を1本にしていたけれど，〇〇くんのアドバイスを聞いて，わゴムを3本にすると，高くとばすことができました。</p>		
<p>5 次時への見通しをもつ。</p>	<p>◇今回考えた改良策を，自分のおもちゃに生かしてよりよくしていくことを伝える。</p>	

(4) 板書計画

め

おもちゃをもっとよくするための作せん会ぎをひらこう。

もんだい点

かいりょうさく

おもしろい点

- ・高くとばない。
- ・とおくにとばない。
- ・はやくすすまない。

- ・わゴムの数をふやす。
- ・形をかえてもちやすくする。
- ・風を当てるところの材料をかえる。

- ・自分では思わなかったこと
- ・はじめてしたこと

ま

ぼくは，もっと高くとばしたいと思って作せん会ぎをしました。今までは，わゴムの数を1本にしていたけれど，〇〇くんのアドバイスを聞いて，3本にすると，高くとばすことができました。

うごく うごく わたしのおもちゃ ～おもちゃフェスティバルをひらこう～

2年（ ）組（ ）ばん 名前（ ）

1. みちかなものをつかってつくったおもちゃでの遊びを考えて、
楽しくあそぶことができた。



2. おもちゃをつかってあそぶときに、そのあそびにひつようなものを
考えて、あそぶことができた。



3. あそびかたややくそくを考えて、1年生にわかりやすく教えることができた。



4. みんなで楽しくあそぶことができた。

